

『地域密着型金融の取組み状況』【平成25年度】（25年4月～26年3月）

加茂信用金庫

【事例1】

1. 項目	成長段階企業支援
2. タイトル	成長産業である医療介護分野への新規開業や増設計画への新規融資支援
3. 取組み内容 および成果	<p>事業先への定期的訪問による実態把握と、経営者との面談を通じて情報収集と資金需要を把握するとともに、財務資料からの情報や地縁人縁による顧客紹介等を活用して、平成25年度は、成長産業である医療介護分野の新規開業や増設計画に積極的に取り組んだ。</p> <p>当営業地区でも少子高齢化が進み、老人施設の入居待機者が多く、既存取引先である特別養護老人施設のショートステイ増設資金、また既存取引先の建築関連業者および不動産業者からの紹介による特別養護老人施設のショートステイ新設資金、サービス付高齢者向け集合住宅新設資金の3件、計536百万円の融資案件を具体化した。</p> <p>これにより、平成26年3月末現在、総貸出に占める医療介護の構成比は、4.18%と前期比0.13%増加した。</p>
4. 外部との連携	無し
5. 担当部署名	融資部

『地域密着型金融の取組み状況』【平成25年度】（25年4月～26年3月）

加茂信用金庫

【事例2】

1. 項目	経営改善支援
2. タイトル	中小企業支援活動
3. 取組み内容および成果	<p>地域密着型金融の一環として、中小企業再生支援活動を重点的かつ継続的に取り組んでいる。</p> <p>①取引企業先に対する定期的訪問による実態把握 ・営業店は、取引企業先への定期的な訪問を実施し、企業の実態把握に努めるとともに、要望等に対しては迅速に対応し、金融円滑化に向けた積極的な対応を行った。</p> <p>②「経営改善計画書」策定と進捗管理および経営改善支援 ・平成25年度は支援先を26先選定し、営業店と中小企業支援室が「経営改善計画」策定等について助言・指導を行ったほか、中小企業再生支援協議会と連携し、取引企業2社の経営改善・支援を行った。 ・平成25年11月に企業再生支援委員会を立ち上げ、中小企業支援室・営業店と連携をとりながら、モニタリングの強化を行ったが、経営環境が厳しく、ランクアップした先はなかった。</p> <p>③中小企業取引先における条件変更等要望先に対する速やか且つ真摯な対応 ・中小企業者からの条件変更等の申込は、平成26年3月末現在累計で800件（債権額10,419百万円）を受付け、うち771件（債権額10,183百万円）を実行した。（29件、債権額236百万円は取下げ）</p> <p>④ビジネスマッチングによる販路拡大支援 ・平成25年9月にNICO（財団法人にいがた産業創造機構）が主催する「うまさぎっしり新潟・食の大商談会」に1社参加、平成25年11月に県協会が主催する個別商談会を開催（3社参加）した。 ・平成24年12月～平成26年2月に「イプロス製造業」に6社参加し、ホームページに掲載され、販路拡大の支援に努めた。平成26年度も「イプロス製造業」に6社参加（うち新先1社）</p> <p>⑤地域プラットフォームへの参加 ・平成25年11月に新潟商工会議所が代表機関の地域プラットフォーム「にいがた中小企業支援センター」に構成機関として参加した。</p> <p>⑥「かもしんきん大関倶楽部」の活動 ・若手経営者や事業後継者を対象とした「かもしんきん大関倶楽部」において企業視察や講演会、企業分析や異業種交流を通じ、経営者の資質向上と事業後継者の育成支援を図った。</p>
4. 外部との連携	有り
具体的な連携先	中小企業再生支援機構・地域プラットフォーム「にいがた中小企業支援センター」
連携先の役割	<p>中小企業再生支援機構と連携し、当金庫取引先2社の経営改善に努めている。</p> <p>平成26年度も引き続き外部機関等との連携を強化し、取引企業の支援・育成に努めていく。</p> <p>また、平成25年11月に新潟商工会議所が代表機関の地域プラットフォーム「にいがた中小企業支援センター」に構成機関として参加しており、平成26年度は、ミラサポ会員の増強を図り、専門家派遣や国の「ものづくり補助金制度」の利用促進等の具体的な支援を通して、取引企業に対する経営改善・支援の強化を図っていく。</p>
5. 担当部署名	①②③⑤融資部 ④⑥業務部